

2年生 学年だより



(タイトルを募集しています!)

離任式

●古谷先生

みんなには、人のことを信じる気持ちを大事にして欲しい。相手のことをよく知らなくても「もしかしたら楽しい人なのかも。」「優しい人なのかも。」というようにいいところを見つけて欲しい。

●宮崎先生 (64期のみんなに対して→) ぼくはみんなのことが大好きです。本当に大好きです。今も大好きだし、これからも、そして2年後3年後これから先もずっと大好きです。卒業式が見れないのが本当につらいです。ぼくはみんなのことを本当に大事に思っています。みんなにも分かって欲しい。自分のことを大切に思っている人がいるということをお忘れしないで欲しい。それは僕だけではなく、みんなの家族や、周りの先生達も同じです。どの子にも、一人ひとりにその子を思う大事な人が周りにいる、ということをお忘れしないで欲しい。だからその人を言葉や態度で傷つけると、同じように、いやそれ以上に悲しむ人が何人もいるということを知ってい

古谷先生(国) 4中へ
宮崎先生(社) 11中へ
西村先生(数) 2中へ
田本先生(理) ご退職
守口先生(音) 3中へ
藤本先生(体) 17中へ
長尾先生(英) 11中へ
澁谷先生(保健室) 3中へ
石田さん(事務) 17中へ
井沢さん(用務) 市役所へ
以上の方々が5中を去られました。
大変お世話になりました。
ありがとうございました。

て欲しい。一人ひとりが大事にされる学年であって欲しい。そばでは見れないけれど、みんな本当に悔いのないよう頑張っていて欲しいと思っています。

●守口先生

(64期の人々に対して→) 昨年一緒に毎日生活をしてきて、思いはたくさんあります。みんな一人ひとりを見ると、とても素直でひとなつこく、あいさつがしっかりできる人が多いです。でも集団になるとダメな部分、自分達の弱い部分が目立っていたように思う。みんな一人一人は本当に素晴らしいものを持っているのだから、力を発揮して頑張っていて欲しい。

●藤本先生

(64期の人々に対して→) 人なつこくよく話しかけてくれる子が多かった。いいところはたくさんあると思う。今何をすべきかしっかり考えて行動して欲しい。バレー部のみなさん、試合会場でまた会うこともあると思います。しっかり練習してうまくなった姿を見せて下さい。

●長尾先生

昨年度は反省することがたくさんありました。もっとみなさんの話を聞いたらよかった、もっと声をかけたらよかったと感じました。でもそんな中で、私がうれしかったことがあります。「先生、大変かもしれないけど、頑張ってください。頼りにしています。というあたたかいメッセージをもらったことです。私は失敗ばかりしていたのですが、はげましてくれる人がいてくれたということで、本当に元気をもらいました。言葉は人を元気にしたり、勇気付けたりする力があります。私もまた新たな地で頑張ります。

「私の歩みは遅い。しかし、決して後戻りはしない」(リンカーンの言葉より)
皆さんもなかなかうまくいかないことがあっても、前向きに、前進してほしいと思います。

●澁谷先生

五中では6年間お世話になりました。これまでに、いろいろな五中生から話を聞いたり、相談されたりしてきました。友人のこと、付き合っている人のこと、家の人のこと、クラブのことなどがありましたが、ほとんどが人間関係の悩みが多かったように感じます。人は、人と人との関係のなかで生きています。1人では生きていけません。私も中学生の時、人間関係で悩んだ時期がありました。そんな中でたった1人、声をかけてくれた人がいて、しんどい気持ちが楽になったということがありました。人は人によって助けをもらうことができるので、もし、今しんどそうにしている人がいたら、勇気を持って声をかけてあげてほしいと思います。

●石田さん

私は事務の仕事をしていたので、あまりみなさんと接する機会がありませんでしたが、こうして前に立ってみると「いっしょに掃除したな」とか、「吹奏楽部で見かけたな」とか「廊下で声をかけてくれたな」と思い出すことがたくさんありました。

4年前に五中に来た時は、まだ校舎も立て替え中で、わくわくしながら新しい校舎に入ったのを覚えています。みなさんも、わくわくした気持ちでこの綺麗な五中に入學してき

たのではないのでしょうか。みなさんも、綺麗な校舎を綺麗なまま、次の世代へと残して欲しいと思います。



学年集会

2年生になって初めての集会がありました。新しい先生を学年に迎えたということもあり、先生一人ひとりからの自己紹介、学校生活について、学習について、湖畔学習についてのお話がありました。

2年生のスタートともいえる学年集会でしたが、みなさんはどう感じましたか？整列の様子、聞く態度、先生たちには気になるところがたくさんありました。きっと同じように感じている人もいます。でも皆が話しているから同じようにしている。集会中に話すことに抵抗がなくなってしまう。そうなのではないのでしょうか。先生の話の中にもありましたが、一人ひとりはとっても人懐っこくて、かわいらしい64期生。でも集団になると…

先生たちは、本気で「このままではいけない！」「何とかしたい！」と思っています。その為にみんなと、とことん向き合っていくつもりです。その中でみんなのいい所もたくさん見つけていきたいと思っています。

みんなはすごいパワーを持っています。そのパワーをどう使うかで、学年が変わります。しっかりと自分・仲間と向き合って、課題から逃げない64期であってほしいと思います。